

6月5日(金)

## 考える力



保育園生活の中でこどものこころが大きく動く瞬間があります。  
昨日から今日にかけて  
目には見えにくいけれど  
「成長」につながるこどもたちの思いや考えのエピソードを紹介します。

### 梅仕事 はじまりました

Jくんの自宅にある梅の木に、今年は梅の実がたくさんついたそうです。  
昨日枝ごと持ってきてくれたのですが  
鈴なりに実った梅の実にみんなでびっくり!  
早速みんなで梅シロップをつくってみよう。  
梅の実と素精糖を入れて一晩おいた今朝、観察してみると  
素精糖に水分が付いて色が濃くなっている部分を発見しました。

「どうしてぬれているんだろう」「さとうがとけたら うめはどうなるのかな」  
玉ねぎの皮染めの体験、そして今回の梅仕事では、自然物力を借りて  
物の成り立ちと出来上がるまでの不思議さと面白さを感じる事が出来  
ています。来週以降も、その変化を観察していきます。



### 相手のきもちと自分のきもち



築山とのぼの土を動かしてトカゲを探していた虫好きチーム。  
土の下を掘っていくと見つかることを知っています。  
けれどこの土は、保育園のおとなたちがメンテナンスのために一つひとつ敷き詰めてきたもの。

「こども主体の保育」というけれど、それはこどもがなんでも好き勝手にしていいということではないのです。こどもに限らず「一人ひとりにとって」という視点で考えて対応する保育者の主体性も重要になってくるということ。

虫探しに夢中になるこどもの行為を尊重するのと同じように、メンテナンスした人の行為や思いを尊重すること=気付くことも必要な事。みんなで相談した結果、今回は土をもとの通りに置くこととなりました。人、それぞれに様々な考え方や感性があるということを知った出来事です。